

ゼロカーボンシティの実現に向けたロードマップ

		2030年度 (中期目標)	2050年 (長期目標)		
		削減率46% (2013年比)	削減率100% (2013年比)		
【方針1】 再生可能エネルギーの導入 拡大・活用推進	①太陽光発電の導入拡大	再エネ導入量を 2021年度末の2倍	再エネ導入量を 2021年度末の5倍		
	②小水力発電の導入拡大				
	③バイオマスエネルギーの利活用の推進				
	④EVの導入拡大			EVの導入割合 10%	EVの導入割合 90%
	⑤水素エネルギーの利活用の推進			FCVの導入割合 3%	FCVの導入割合 9%
【方針2】 省エネルギーの推進	⑥多様なエネルギー関連技術・設備の普及展開	家庭や中小企業への省エネ設備の導入を推進			
	⑦建築物におけるエネルギー利用の効率化の推進	新築建築物、建物ストック平均でのZEB・ZEH基準の水準の省エネ性能確保を推進			
	⑧公共施設におけるエネルギー利用の効率化の推進	設備更新・改修時の省エネ化、ZEB化の推進			
【方針3】 エネルギービジネスの活性化	⑨自立分散型エネルギーシステムの利活用の推進	自立分散型エネルギーシステムを導入したモデルエリアの形成・展開			
	⑩エネルギービジネスを支えるグリーンファイナンスの推進	グリーンファイナンスの推進による再生可能エネルギーの導入拡大、建築物の省エネ化			
	⑪再生可能エネルギーの地産地消の推進	再エネ電力の地産地消の推進			
	⑫市内企業の技術・ノウハウのパッケージ展開	開発途上国を中心に、市内企業の技術・ノウハウをパッケージ展開			
【方針4】 多様なステークホルダーとの 協働による事業推進	⑬官民連携による事業の推進	官民連携による再エネ・省エネプロジェクトの推進			
	⑭エネルギープロジェクト推進基盤の拡大	各種プラットフォーム等との情報共有・連携により、取り組む企業の増加を図る			
	⑮エネルギープロジェクトを担う人材育成	育成した人材によるエネルギープロジェクトの実施・展開			
	⑯県内におけるエネルギーの広域連携の検討	広域連携による再エネ調達の検討・実施			
	⑰市民参加による循環型社会の形成	ごみの減量化・資源化を推進			
	⑱温室効果ガスの吸収源対策	森林整備等による二酸化炭素吸収量の確保			